

地方公営企業法第40条の2第1項の規定に基づき、業務の状況について公表します。

令和7年5月

白河地方広域市町村圏整備組合
管理者 鈴木 和 夫

白河地方広域市町村圏整備組合水道用水供給事業の業務の状況について

1 令和7年度事業の概要

令和7年度水道用水供給事業会計予算が、去る2月21日開催の当組合議会2月定例会において可決されましたのでお知らせします。

(1) 総括事項

本年度の業務としましては、供給6市町村（白河市、矢吹町、西郷村、泉崎村、中島村及び棚倉町）を対象とし、一日最大給水量21,310m³、年間総給水量7,778,150m³を供給する予定です。前年度に引き続き、計画的な設備機器類の機能維持を行いながら、合理的な運転管理と健全な経営に努めるとともに、清浄でおいしい水の安定供給を図ってまいります。

本年度の予算につきましては、収益的収入として供給6市町村からの用水料金及び長期前受金戻入などを計上しています。収益的支出としては当組合芝原浄水場の運転・維持管理や設備の保守点検、浄水に必要な動力費や薬品費、水質検査に要する経費、減価償却費、企業債利息及び職員給与費などを計上しています。これら支出項目ごとに適正かつ効率的に執行することを踏まえ、収益的収入は1,078,328千円、収益的支出は943,558千円を計上しました。資本的収支につきましては、資本的収入118,800千円（企業債）、資本的支出393,783千円（建設改良費、企業債償還金）を計上しました。資本的収入額が支出額に対し不足する額274,983千円は、過年度分損益勘定留保資金などで補てんします。

本年度の主な事業としましては、日常的な浄水場運転・維持管理のほか、年次計画に基づく設備の保守点検や修繕、原水や浄水の水質検査などを行います。修繕工事としては、脱水機及び排水処理施設設備修繕、沈澱池汚泥掻寄機及びフロキュレーター用軸受修繕、ろ過池洗浄設備修繕、排水・排泥池照明設備修繕、薬品注入ポンプ修繕などを年次計画に基づき実施します。

また、建設改良として、芝原浄水場無停電電源設備更新工事（2か年計画1年目）及び梅ヶ沢増圧ポンプ場送水ポンプ更新工事を実施します。

(2) 収支の状況

イ 収益的収支

(単位：千円)

区 分			令和7年度 当初予算額	令和6年度 当初予算額	比 較 増 (△) 減	備 考
収益的 収支	収 益	営 業 収 益	726,054	726,054	0	
		営業外収益	304,009	475,487	△ 171,478	
		特 別 利 益	48,265	48,265	0	
		計	1,078,328	1,249,806	△ 171,478	
	費 用	営 業 費 用	863,230	928,986	△ 65,756	
		営業外費用	75,327	32,009	43,318	
		特 別 損 失	1	1	0	
		予 備 費	5,000	5,000	0	
		計	943,558	965,996	△ 22,438	

ロ 資本的収支

(単位：千円)

区 分			令和7年度 当初予算額	令和6年度 当初予算額	比 較 増 (△) 減	備 考
資本的 収支	収 入	企 業 債	118,800	1,400,400	△ 1,281,600	
		計	118,800	1,400,400	△ 1,281,600	
	支 出	建設改良費	123,750	1,400,493	△ 1,276,743	
		企業債償還金	270,033	304,920	△ 34,887	
		計	393,783	1,705,413	△ 1,311,630	

※資本的収入額が支出額に対し不足する額274,983千円は、過年度分損益勘定留保資金など274,983千円で補てんする。

(3) 予定貸借対照表

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
1. 固 定 資 産	12,958,533	3. 固 定 負 債	2,827,599
(1) 有形固定資産	8,033,334	(1) 企 業 債	2,777,599
(2) 無形固定資産	4,925,199	(2) 引 当 金	50,000
2. 流 動 資 産	984,022	4. 流 動 負 債	305,179
(1) 現 金 預 金	962,577	(1) 企 業 債	291,243
(2) 未 収 金	0	(2) 未 払 金	9,412
(3) 貯 蔵 品	21,445	(3) 引 当 金	4,524
		5. 繰 延 収 益	7,762,082
		(1) 長 期 前 受 金	16,463,207
		(2) 収益化累計額	△ 8,701,125
		6. 資 本 金	2,437,477
		7. 剰 余 金	610,218
		(1) 資 本 剰 余 金	55,653
		(2) 利 益 剰 余 金	554,565
資 産 合 計	13,942,555	負債資本合計	13,942,555

2 令和6年度事業の状況（令和7年3月31日現在）

(1) 事業の概要

令和7年3月31日現在の予算執行状況としましては、収益的収入の予算額1,237,907千円に対し、用水料金及び長期前受金戻入などによる1,238,509千円の収入で収入率は100.05%となり、収益的支出の予算額965,996千円に対しては、経営に伴う施設維持管理費及び減価償却費などによる939,894千円の支出で執行率は97.30%となりました。また、資本的収支につきましては、資本的収入の予算額1,290,500千円に対し、企業債による1,290,500千円の収入で収入率100.00%となり、資本的支出の予算額1,595,605千円に対しては、建設改良費及び企業債償還金による1,595,604千円の支出で執行率100.00%となりました。

水道用水の供給状況としましては、供給市町村への総送水量が7,482,716³となり、有収水量は7,401,437³、有収率は98.91%となりました。引き続き、安全な水の安定供給に努めてまいります。

令和6年度の主な事業としましては、日常的な浄水場運転・維持管理のほか、年次計画に基づく設備の保守点検や修繕、原水や浄水の水質検査などを行いました。修繕工事としては、脱水機及び排水処理施設設備修繕、沈澱池汚泥掻寄機修繕、始動用直流電源装置修繕、ろ過池洗浄設備修繕、薬品注入ポンプ修繕及びPAC注入配管修繕などを年次計画に基づき実施しました。また、建設改良として、芝原浄水場及び場外施設電気計装設備更新事業（3か年計画3年目）を実施しました。

当組合では、水道水の放射性物質モニタリング検査を月1回行っていますが、現在の状況は水道水中の放射性物質に係る管理目標値を下回っています。そのほか、浄水場内の原水（浄水場入口水）及び浄水（浄水場出口水）のモニタリング検査を週1回、堀川ダムへの流入水（堀川）のモニタリング検査を月1回の頻度で行っていますが、いずれも管理目標値を下回っています。

(2) 経理の状況

令和6年度予算執行状況（R7.3.31現在）

イ 収益的収支

（単位：千円）

区 分			令和6年度 当初予算額	補正予算額	予備費支出額 流用増減額	現計予算額 (A)	上期執行済額	下期執行済額	執行累計額 (B)	予算残額 (A)-(B)	執行率(%) (B)/(A)
収益的 収支	収益	営 業 収 益	726,054	0	0	726,054	363,027	363,028	726,055	△ 1	100.00
		営業外収益	475,487	△ 11,899	0	463,588	18	464,113	464,131	△ 543	100.12
		特 別 利 益	48,265	0	0	48,265	48,263	60	48,323	△ 58	100.12
		計	1,249,806	△ 11,899	0	1,237,907	411,308	827,201	1,238,509	△ 602	100.05
	費用	営 業 費 用	928,986	0	0	928,986	99,580	808,308	907,888	21,098	97.73
		営業外費用	32,009	0	0	32,009	16,912	15,094	32,006	3	99.99
		特 別 損 失	1	0	0	1	0	0	0	1	0.00
		予 備 費	5,000	0	0	5,000	0	0	0	5,000	0.00
		計	965,996	0	0	965,996	116,492	823,402	939,894	26,102	97.30

ロ 資本的収支

(単位：千円)

区 分			令和6年度 当初予算額	補正予算額	現計予算額 (A)	上期執行済額	下期執行済額	執行累計額 (B)	予算残額 (A)-(B)	執行率(%) (B)/(A)
資本的 収支	収入	企 業 債	1,400,400	△ 109,900	1,290,500	0	1,290,500	1,290,500	0	100.00
		計	1,400,400	△ 109,900	1,290,500	0	1,290,500	1,290,500	0	100.00
	支出	建設改良費	1,400,493	△ 109,808	1,290,685	0	1,290,685	1,290,685	0	100.00
		企業債償還金	304,920	0	304,920	151,552	153,367	304,919	1	100.00
		計	1,705,413	△ 109,808	1,595,605	151,552	1,444,052	1,595,604	1	100.00

※資本的収入額が支出額に対し不足する額305,104千円は、過年度分損益勘定留保資金4,335千円、減債積立金260,200千円及び当年度分消費税及び地方消費税額資本的収支調整40,569千円で補てんした。

(3) 損益計算書

(単位：千円)

区 分	上期分	下期分	累計額
営 業 収 益	330,025	330,025	660,050
営 業 費 用	301,411	582,261	883,672
営 業 利 益	28,614	△ 252,236	△ 223,622
営 業 外 収 益	150,301	237,062	387,363
営 業 外 費 用	16,911	15,100	32,011
経 常 利 益	162,004	△ 30,274	131,730
特 別 利 益	48,263	60	48,323
特 別 損 失	0	0	0
当年度純利益	210,267	△ 30,214	180,053
前年度繰越利益剰余金	0	0	0
その他未処分利益剰余金変動額	0	260,200	260,200
当年度未処分利益剰余金	210,267	229,986	440,253

※年度末に一括して予算執行を行う長期前受金戻入及び減価償却費については、上期分・下期分として推定される額を計上。

(4) 貸借対照表

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
1. 固 定 資 産	13,356,927	3. 固 定 負 債	3,000,043
(1) 有形固定資産	8,268,138	(1) 企 業 債	2,950,043
(2) 無形固定資産	5,088,789	(2) 引 当 金	50,000
2. 流 動 資 産	944,164	4. 流 動 負 債	283,715
(1) 現 金 預 金	813,191	(1) 企 業 債	270,033
(2) 未 収 金	109,442	(2) 未 払 金	9,021
(3) 貯 蔵 品	21,531	(3) 引 当 金	4,473
		(4) その他流動負債	188
		5. 繰 延 収 益	8,064,685
		(1) 長期前受金	16,483,602
		(2) 収益化累計額	△ 8,418,917
		6. 資 本 金	2,437,477
		7. 剰 余 金	515,171
		(1) 資本剰余金	55,653
		(2) 利益剰余金	459,518
資 産 合 計	14,301,091	負 債 資 本 合 計	14,301,091

(5) 企業債の状況

(単位：千円)

区分	前年度末残高	令和6年度		3月末現在残高
		3月末現在借入高	3月末現在償還高	
企 業 債	2,234,495	1,290,500	304,919	3,220,076